

ポイント

◆◆特集◆◆

★鹿島鉄道跡地のバス専用道化事業について★ (茨城県 土木部 都市局都市計画課)

鹿島鉄道跡地がバス専用道に生まれかわり、平成22年8月30日より運行を開始しました。本事例は、全国初の公設民営方式により、自治体が公道としてバス専用道を整備した技術的観点等を中心にまとめています。

◆◆訴訟事例紹介◆◆

★普通乗用車が凍結防止剤によりスリップし擁壁に衝突したとして、 道路の管理瑕疵が争われた事例★ <平成21年10月29日 福岡地裁小倉支部判決> (国土交通省 道路局 道路交通管理課)

【事案の概要】

普通乗用車が、凍結防止剤が散布されていた右上りカーブにおいて加速をしたところ、タイヤがスリップして道路横の擁壁に衝突し、車両が損傷した。

本件事故は、道路管理者が凍結防止剤を道路脇に放置するのみで、必要な措置を採らなかったことにより不適切な凍結防止剤の散布をもたらしたことによるものであるとして、車両全損代等の賠償を請求。

【判決要旨（請求棄却）】

アクセルの踏みすぎにより本件事故が発生したとの可能性を否定することはできず、また、凍結防止剤が原因となって本件事故が発生したことを認めるに足る的確な証拠はないといわざるを得ない。

◆◆TOPICS◆◆

★日本橋地域における木材（間伐材）を用いた 人に優しい道路空間の社会実験★ (日本橋みゆき通り道路実験協議会)

都内において代表的で歴史ある商業・業務地域である日本橋地域において、かつて日本橋のまちを構成していた素材である木（間伐材）をまちや歩行空間（歩道）に取り入れた社会実験の内容をまとめました。基本的に無機質な素材で構成された都心、街の中に木というものを取り入れた効果等も検証しました。

◇◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◇

★中部地方整備局における道路管理業務勉強会の発足について★

(国土交通省 中部地方整備局 道路部 路政課)

道路管理業務を取り巻く現状は年々厳しくなってきましたが、国民の安全・安心な生活を守るため、国民共有の財産である道路を適切に維持管理していかなければなりません。それは私たち道路管理に携わる職員の使命であります。その使命を全うするべく、道路管理業務に携わる職員が基礎的知識に加え専門的知識を習得すること目的とし、平成22年度より道路管理業務勉強会を発足させました。

★佐賀県の橋梁長寿命化修繕計画と

道路のユニバーサルデザイン化への取組について★

(佐賀県 交通政策部 道路課)

佐賀県では、佐賀県橋梁長寿命化修繕計画にもとづき、効率的で信頼性の高い橋梁の維持管理を実施しています。また、利用するすべての人が利用しやすいものづくり、交通環境づくりを推進し、道路のユニバーサルデザイン化をすすめています。本稿では、これらの取組みについて紹介します。

★快適で安全な道路環境づくりをめざして★

(佐賀市 建設部 道路管理課・道路整備課)

佐賀市では、「快適で安全な道路環境づくり」への取り組みを実施しています。本稿においては、取り組んでいる事業の中から成果をあげてきた「佐賀駅周辺の放置自転車対策」「人に優しい道路・佐賀市案」についてご紹介します。

◇◆取組み紹介◆◇

★道路管理における民間活用分科会の報告概要★

～新道路利活用研究会～ ((財) 道路新産業開発機構 調査部)

都市のあり方について、民間開発への規制を中心としたまちづくりから、民間企業等による開発後の地域管理を中心とした新たな仕組みの必要性が高まってきたことから、「エリアマネジメント」と呼ばれるまちづくり活動として各地で先導的な取組みが展開されています。

そこで、本分科会では、道路管理において民間組織を活用することも含め、『エリアマネジメントを活用し、民間による道路の継続的な維持管理を行うための手法の検討』について検討を行い、提案をとりまとめました。

◆◆編集後記◆◆

生まれ変わるとしたら男性がいい？女性のほうがいい？

先日、友人とのたわいない会話のなかで、こんな話題がでました。

男性では意見がわかれてきましたが、女性にいたっては、ほぼ全員が生まれ変わっても女性を望むという結果となりました。

最近、“レディースデー”や“女性限定”という言葉をよく聞きます。

例えば、レディースデーに映画館に行くと、1,000円（通常1,800円）で映画鑑賞ができます。また、女性みのグループで行くとモツ鍋がタダで食べられるお店や、女性のみデザートサービスというお店もあるようです。

（最近では、メンズデーもあるとか、ないとか。。）

なぜ、女性のみをターゲットとしたサービスが多くあるのでしょうか。

女性が行きづらさを感じるお店が、集客力向上のためにこのようなサービスを展開していたり、クチコミ力を期待してのサービスであったりするようです。

また、最近では、草食系男子という言葉も生まれたように、主導権を女性が握ることが増えたように感じます。女性に喜ばれるサービスこそが、集客力UPにつながるということなのでしょうか。

理由はなんにせよ、おいしいサービスであることには違いありませんし、これを見逃さないのも、女性ならではののかもしれません。

やっぱり、このサービスだけを見ると、女性のほうが得をしていると感じられます。わたしも生まれ変わるとしたらやっぱり女性を選ぶかもしれません。（K）